

2016 年 7 月 31 日（日）～8 月 2 日（火）

震災・復興とリスクマネジメント（○）国際都市神戸と世界の文化（ ）提言：国際紛争・対立から平和・協調へ（ ）グローバルサイエンスと拠点都市神戸（ ）その他（ ）

第 1 回 仙台交流プログラムを実施しました

〔概要〕 東日本大震災の被災地である宮城県を訪問し、以下のプログラムを実施しました。

- ・ 仙台市若林区荒浜周辺視察及び 3.11 メモリアル交流館訪問
- ・ 「自然災害について学び、震災の記憶を後世に伝えていくかを共に考える」というテーマをもとに、仙台市立仙台青陵中等教育学校の生徒と南三陸町志津川周辺の被災地視察及びディスカッションをしました。
- ・ 今年度より災害科学科を新設した宮城県立多賀城高等学校の生徒と多賀城周辺視察及び「震災発生後 24 時間以内にどのような行動をとるか」についてディスカッションをしました。



仙台市若林区荒浜に訪問し、里海荒浜ロッジにて職員の方にお話を聞きました。



仙台市営地下鉄東西線荒井駅にある 3.11 メモリアル交流館を訪問しました。



東日本大震災発生当時、大川中学校に勤務されていた、仙台市立仙台青陵中等教育学校の教頭先生より「災害の心理と行動～石巻市大川地区での被災体験を通して～」というテーマで講義を行っていただきました。



南三陸町志津川を訪問し、志津川地区まちづくり協議会会長さんに案内と公園を行っていただきました。



南三陸さんさん商店街にて、昼食をとりました。



仙台青陵中等教育学校の生徒と、南三陸町の視察をもとにディスカッションをおこないました。



両校集合写真



多賀城市周辺の被災地等を多賀城高等学校の生徒に案内していただきました。



多賀城高校にて「震災発生後 24 時間以内にどのような行動をとるかについてディスカッションをしました。」